

第44回原子力委員会定例会議議事録（案）

1. 日 時 1997年7月1日（火）10:00～11:50

2. 場 所 委員会会議室

3. 出席者 伊原委員長代理、田畑委員、藤家委員、依田委員
理化学研究所
有馬理事長、雨村副理事長、吉良理事、坂内理事
矢野主任研究員、谷畑主任研究員、石原主任研究員
柴田企画室長
資源エネルギー庁原子力発電安全企画審査課
小嶋統括安全審査官
（事務局等）池本専門委員
中村研究技術課長
研究技術課 佐藤、新田
理化学研究所 井上、木瀬、徳岡、桂
資源エネルギー庁
原子力発電安全企画審査課 石渡、小山、高橋、結城
原子力調査室 松尾、杉本、新井、中山

4. 議 題

- （1）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて（理化学研究所）
- （2）東北電力株式会社女川原子力発電所の原子炉の設置変更（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）について（答申）
- （3）原子力委員会専門委員の変更について
- （4）その他

5. 配布資料

- 資料1-1 平成10年度原子力関係予算概算要求説明要旨
資料1-2 平成10年度原子力関係研究開発課題（補足説明資料）
資料1-3 原子力関係事業の進捗状況
参考資料 理研「RIビームファクトリー」計画
資料2-1 東北電力株式会社女川原子力発電所の原子炉の設置変更（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）について（答申）（案）
資料2-2 東北電力株式会社女川原子力発電所原子炉設置変更許可申請（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）の概要について
資料2-3 女川原子力発電所原子炉設置変更許可申請（1号、2号及び3号原子炉施設の変更）本文及び添付書類
資料3 原子力委員会専門委員の変更について（案）
資料4 藤家委員の海外出張について
資料5 第43回原子力委員会臨時会議議事録（案）

6. 審議事項

- （1）平成10年度原子力関係予算ヒアリングについて（理化学研究所）
標記の件について、委員長代理より、
 - ・6月24日の委員会決定「平成10年度原子力関係予算の処理について」に基づいて、本日以降、各関係機関から原子力関連予算についてヒアリングを行うこととしている
 - ・財政構造改革に関する閣議決定や、科学技術会議において現在検討されている

研究評価指針の策定の動向も踏まえ、当委員会としてもフレキシブルに対応していくこととなると思われるのでよろしくお願いしたい
との発言があった後、理化学研究所より資料1-1、資料1-2、資料1-3及び参考資料に基づき、説明があった。

これに対し委員より、

- ・ブルックヘブン国立研究所との協力研究は、海外における研究開発の新しいあり方として先進的なものであり、他のよい先例となると期待している。日本の研究者が積極的に参加し、リーダーシップを発揮して、是非とも成功させてほしい
- ・R I ビームファクトリー計画は、今後12年程度の長期にわたる計画の中で超伝導技術を開発しながら進めていくとのことであるが、電機メーカーや原研、J Rなどとの関係を整理しながら進めてほしい
- ・R I ビームファクトリー計画は非常にチャレンジングなプログラムと評価する。核物理だけでなく、核化学、生物などの分野の研究も重要であり、横断的に進めるよう努力してほしい
- ・R I ビームの分野は基礎科学的ではあるが、原子力利用の間でも大きな柱であり重要
- ・クロスオーバー研究については、他の研究機関との連携を図りながら、うまく育つよう進めてほしい
- ・微細構造物をレーザーで作るなどのミニチュアテクノロジーは、近年重要になっている。レーザーだけでなくビーム利用などへの展開を考慮していったらどうか

等の意見があった。

- (2) 東北電力株式会社女川原子力発電所の原子炉の設置変更(1号、2号及び3号原子炉施設の変更)について(答申)

平成9年5月29日付け平成09・02・18資第12号をもって諮問のあった標記の件に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第26条第4項において準用する同法第24条第1項第1号、第2号及び第3号(経理的基礎に係る部分に限る。)に規定する基準の適用について、審議の結果妥当なものと認め、通商産業大臣あて答申することとした。

注) 本件は、1号炉の使用済燃料の貯蔵裕度を確保するため、2号及び3号炉の核燃料物質取扱設備の一部並びに使用済燃料貯蔵設備を1号炉と共用化するものである。

続いて、議題(3)については非公開となるため、その他の議題及び前回の議事録の確認を先に行うこととしたうえで、

- (3) その他の議題として、藤家委員の海外出張について、事務局より資料4に基づき、藤家委員が1997年7月4日(金)から7月13日(日)までの10日間、米国ロスアラモス国立研究所(LANL)等における会合に出席し、招待講演等を行うとともに、ロスアラモス国立研究所並びにユッカマウンテン探査・地下研究施設の視察を行う予定である旨、報告があった。

- (4) 議事録の確認

事務局作成の資料5第43回原子力委員会臨時会議議事録(案)が了承された。

なお、事務局より前回第43回委員会での議論に基づき、次回委員会の開会を9時30分とする方向で調整したい旨発言があり、その方向で対応することとした。

- (5) 原子力委員会専門委員の変更について

標記の件について、人事案件のため非公開で審議することとした上で、事務局より資料3に基づき説明がなされ、了承された。